

絵やポスターを描くためのポイント

① 何を描こうか、テーマを決める。

・テーマをよく読む。頭に浮かんだ絵や言葉を別の紙に書き出す。

② 条件は、何かたしかめる。

・たてがき、よこがき、四つ切り画用紙（38×54くらい）

（絵画は、絵です。ポスターは、字が入ったり目立つようにデザインしたりしたものです。）

③ どんなふうを描こうかな。

・描きたいものは、大きく描く。目立つことが大切。

・字（標語・スローガン・ことば）をどこに、どの大きさで入れるか考える。

・別の紙に、鉛筆で描いて予想を立てる。

・画用紙に薄く鉛筆で描いてみる。

・パソコンで5cm角以上の文字を打ち出し、配置して上からなぞって跡をつけると字形が美しい。（高学年）

いよいよ本番！

・低学年は、絵や字をクレヨンでかく。まわりを絵の具で色をつける。

・中学年は、絵や文字の輪郭をクレヨンや油性マジックでかき、絵の具で色をつける。

・高学年は、輪郭をBの鉛筆で薄く描く。（アクリルガッシュやポスター絵の具を使うとよい。）

・ポスターは、絵の具をシチューくらいの濃さで描くと強い印象になる。

・広い部分は、多めに絵の具を出す。（豆腐のカップなどを使うとよい。）

・背景もすべて色をつける。白色を少しまぜるとむらが目立たない。まわりを、うすい色（黄・黄緑・水色、ピンク、クリーム色など白色をまぜた色）の絵の具でぬる。夜のイメージなら黒や紺もあり。

・まわりの広いところは、太筆や たんぼ（てるてるぼうずの形のもの）をつかうとよい。

・字は、背景が薄い色なら、黒、紺、青、赤、緑の濃い色で描くと目立つ。

・色の組み合わせが、不安なときは、色紙を重ねて配色を考えよう。

・赤と緑など強い色同士は、目が疲れるので、間に白を入れたり、面積比を変えたりしてみよう。

・優しい色と強い色のバランスを考えよう。

絵（絵画）

・絵の具をのせるようにてんと連続で筆を運ぼう。絵の具の濃さは、ジュースくらいがいい。

・遠くの物から、優しい色（レモン、黄、肌色、黄土、黄緑、水色、橙...）から、色をのせていく。

・白色を少しずつ増やして色を混ぜて、明るくする部分を作ると絵に表情がでる。

・緑色を明るくするときは、黄色を混ぜる。深みを出したいときは、水色や青色や藍色を少しすすとい。

・茶色は、黄土色や黄色や黒色と仲がいいから、少し混ぜるといろいろな茶色ができる。

きりとりせん

課 題(題名)			
学校住所	440-0065 愛知県豊橋市仁連木町15番地 電話 (0532) 62-0448 FAX (0532) 65-1204		
学校名	とよはししりつあずまだしょうがっこう 豊橋市立東田小学校	ねん 年	くみ おとこ おんな 組 (男・女)
(ふりがな) 氏 名			才

応募用紙を必ず作品の裏右下へ貼ること。⑥⑬⑯は、別紙の指定の応募票をはる。